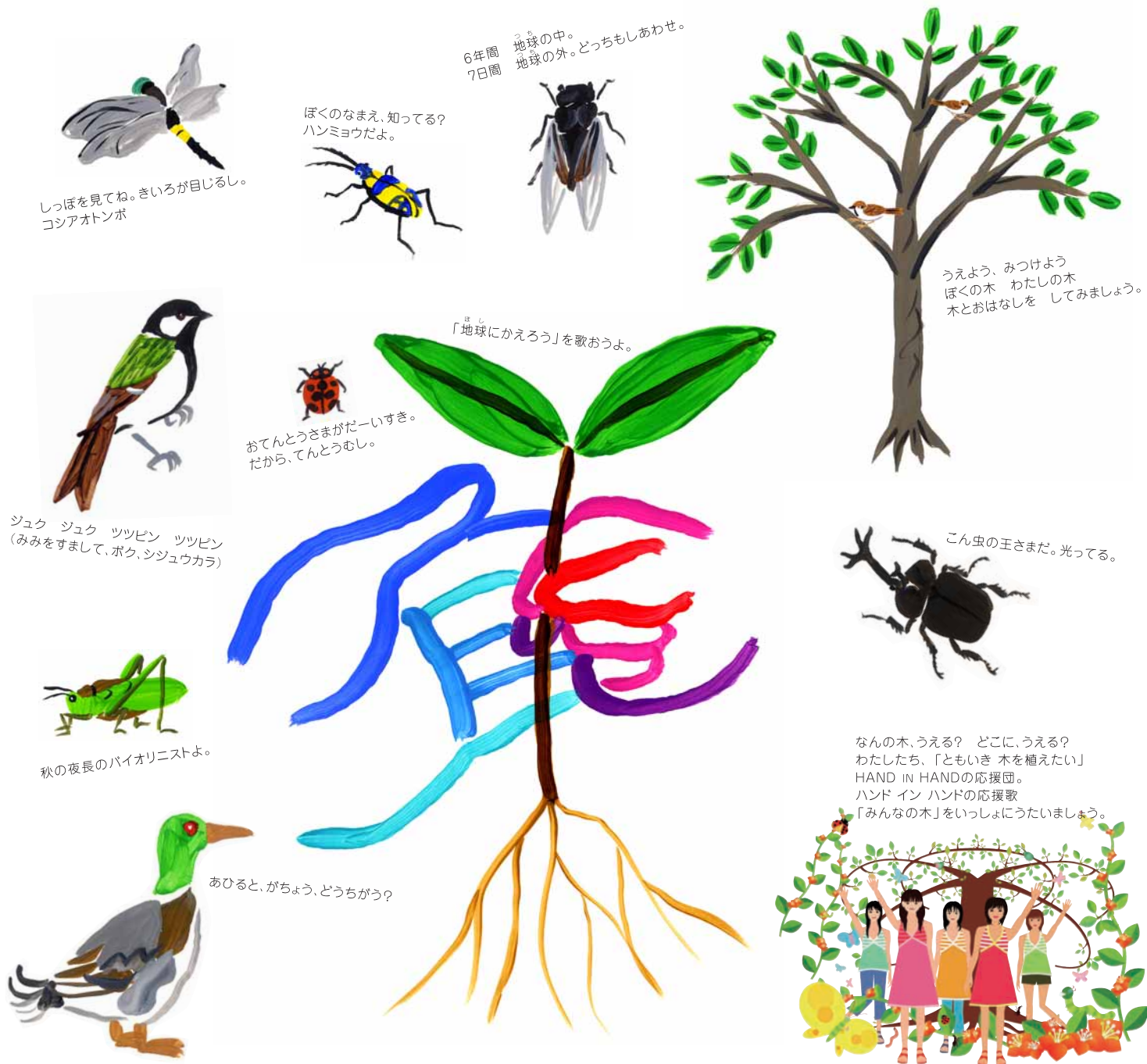


# 子どもたちに、自然をとりもどそう。

第2回 HAND IN HAND DAYは9月25日(月) HAND IN HAND WEEKは9月16日(土)~9月25日(月)



子どもたちの五感を育ててきた自然環境が、失われてきています。  
あなたの町に、水と緑を。

子どもたちが始める活動です。大人のみなさん、学生のみなさん、サポーターになってください。

お問い合わせ・連絡先 TEL:03-3568-6585/FAX:03-3568-6586/E-mail:handinhand@plantatree.gr.jp  
ホームページをご覧ください。URL:www.plantatree.gr.jp/handinhand/

第2回・アジアの子どもたちの秋の植樹祭 9.25

## HAND IN HAND

PLANT A TREE PLANT LOVE FOR ASIAN COUNTRIES

主催：HAND IN HAND実行委員会

連携協力：財団法人地球科学技術総合推進機構・地球温暖化研究開発センター ● 社団法人国土緑化推進機構・全国緑の少年団連盟 ● 国際ソロプチミストアメリカ 日本東リジョン ● 社団法人全国こども連合会 ● 二期会 ● 財団法人国際生態学センター ● 社団法人日本青年会議所 ● 財団法人日本環境協会こどもエコクラブ全国事務局 ● NPO PLANT A TREE PLANT LOVE

特別協賛：明治製菓株式会社

# 子どもたちに五感を。いのちの実感を。発見の喜びを。

身近なところに、「ぼくの木」、「わたしの木」を植えることから始めよう。  
それがHAND IN HAND。いのちを育て、五感をとりもどす運動です。

都会に、水と緑をとりもどしましょう。  
昆虫や鳥を、呼びもどしましょう。  
自分の手で苗を植えることから始めましょう。  
その「自分の木」を見つめ、育てるうちに  
「五感」がよみがえります。この五感こそ、  
現代社会が忘れていて、いちばん大切なもの。

物質文明が壊してしまった自然の秩序を  
取りもどすこと。木を育てることで  
いのちを感じる人間が育ちます。  
手をつなぐことの喜びも、実感します。  
時間はかかるけれど、現代の不幸を防ぐ  
確実な基本だと私たちは考えています。

去年は、こんなところで、こんなふうにHAND IN HANDが行われました。  
ベランダでも、近所でも、できるところで、できるやり方で始めましょう。

## ◎東京の駅ビルの屋上で母と子の畑仕事

目黒たたみ一畳農園グループ(東京都品川区)JR目黒駅「目黒アトレ1」の屋上で近所の子どもたちがたたみ一畳分の農園に、野菜や花を植え、日常的に自然とふれあっている。

## ◎もう一つの「たたみ一畳農園」

「ヒコ・みづのジュエリーカレッジ」(東京都渋谷区)の校庭に、講師の中村隆一郎先生とアートジュエリーコース3年生が廃材でたたみ一畳農園をつくり、二十日大根の種をまいた。

## ◎ベガルダ仙台の選手と七北田公園に植えた

宮城県「仙台植樹の会」では、サッカー選手といっしょに、約60名の子どもたちがヤマボウシ1本、コナラ2本を植えた。

## ◎校庭に植えた木は、地域のおじさんが育てた木

こどもエコクラブ「どんぐりの木」と国際ソロプチミスト青梅(東京都青梅市)は、青梅市立第五小学校の校庭に、鈴木福次さんが育てた八重祭笠というウメの木を植えた。木に話しかけたり、幹にさわったりして植えた。

## ◎4年間、みんなで育てた苗木を植えたよ

愛知県の「土橋小学校みどりの少年団」5年生は1年生のときに土橋神社や校内で拾ったアベマキやコナラの実を苗木に育て、鳳来町の山林に植樹した。

## ◎学校を森にしよう

福岡県の「若菜小学校」では、校庭を森にしたいという夢をもつ内藤校長のもと、62名の子どもたちが、校庭にカシの苗木を10本植えた。みんな、卒業しても見守るつもりだ。

## ◎はじめての植樹。ぼくらのマンゴーの木

カンボジア「NPO Bright smiles of Children」の皆さんは、ワットメイ境内にある寺子屋と、BOCフレンドシップセンター英語塾の子どもたちがはじめての植樹を体験。

## ◎中越大地震被災者の仮設住宅地に菜の花の種をまいたよ

新潟県の「国際ソロプチミスト長岡」と長岡市公園緑化課は、約4ヘクタールの花壇に、南中学校吹奏学部のみなさんと仮設住宅の住民が参加して菜の花の種をまいた。

## ◎地域の緑地にぼくらの木を植えたよ

群馬県の「国際ソロプチミスト利根ぬまた」では、天狗滝緑地内に、幼稚園生、小学生49名と保護者たちといっしょにモッコクの木を植えた。

## ◎同じ日、同じ時刻に山梨とタイで植樹した

「国際ソロプチミスト山梨」では、森林公園金川の森にガールスカウト、ボーイスカウト、甲府湯田高校生、約80名がスタジイ、アカガシなど50本を植樹。同時刻、タイの婦女子職業訓練所の子どもたちはマンゴーの木を植えた。

## ◎学校と児童と地域のHAND IN HAND

東京の「品川区立品川小学校」校舎裏の土手を地域の人、教師が力をあわせて、子どもたちが自然に親しめるように整備し小道をつくった。このさわやかグリーンロードがオープンし、緑化隊が記念のクスギの木を植えた。

## ◎コソボの子どもたちと木をうえてうたった

東京の「原宿少年少女合唱団」とコソボの中学生は、原宿の冒険遊び場春の小川プレイパークにコソボの木、モチノキを植え、ハンド・イン・ハンドのテーマ曲「地球(ほし)にかえろう」(鈴木重子・作詞作曲)を歌った。

## ◎病気の子どもたちの笑顔のために

東京の「国際ソロプチミスト東京一東」は、国立成育医療センターに環境省炭谷茂環境事務次官をはじめ、センター職員の子どもたち、東京女学館、嘉悦女子中学、高校生など、約135名で、オカメザクラ、ドウダンツツジなどを植えた。

## ◎地域のおとなたちが、手をつないだ

熊本県の「社団法人玉名青年会議所」・玉名市こども会連合会・玉名市PTA連絡協議会・三加和町子ども会、ボーイスカウト玉名第4団など地域の団体が連携して、前の年にひろったどんぐりを苗木にして三加和町ふれあいの森に植樹。約350名が参加して、カブト虫が好きなクスギを、およそ1000株植えた。

## ◎HAND IN HAND PR大作戦

東京豊島区の「こどもエコクラブ・シーズ」と「ボーイスカウト東京豊島6団カブスカウト」は、前の年にプレHinHでセイヨウボダイジュを植樹し、目白駅前で花壇を作り世話をしている。JR目白駅前で、HinHのちらしとハーブの種をセットにして100名に配り、PRに励んだ。

◎その他、韓国、ベトナムもふくめて、日本とアジア約100カ所、さまざまなHAND IN HANDが行われた。(以上、順不同)

◎詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.plantatree.gr.jp/handinhand/>

## 第2回 HAND IN HAND DAYは9月25日(月) HAND IN HAND WEEKは9月16日(土)~9月25日(月)

主催：HAND IN HAND実行委員会 連携協力：財団法人地球科学技術総合推進機構・地球温暖化研究開発センター ●社団法人国土緑化推進機構・全国緑の少年団連盟 ●国際ソロプチミストアメリカ 日本東リジョン ●社団法人全国こども連合会 ●二期会 ●財団法人国際生態学センター ●社団法人日本青年会議所 ●財団法人日本環境協会こどもエコクラブ全国事務局 ●NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 特別協賛：明治製菓株式会社